

技術の名称

## 無線ネットワーク

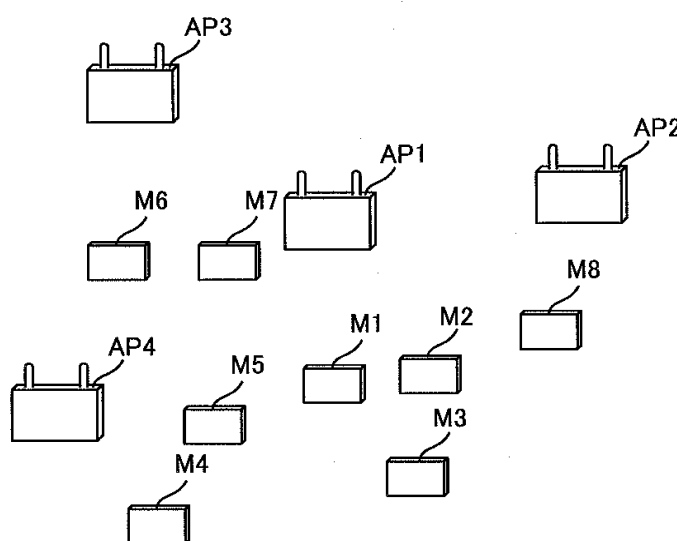
## 適用分野

無線LAN、移動端末を用いる無線ネットワーク

- 目的 本発明の目的は、無線ネットワークにおける通信効率の向上にある。
- 効果 本発明によれば、無線装置は各アクセスポイント(AP)との最適経路を選択すると共に、潜在スループットが最大となる最適APを選択しているため、パケットは最短時間でAPに到達し、その結果、無線ネットワークの通信効率が向上する。
- 技術概要 無線装置M3は、アクセスポイントAP1へ直接アクセスする経路と無線装置M1またはM2を介してAP1へアクセスする経路の中からAP1までの通信所要時間が最小となる経路をAP1への最適経路として選択し、また無線装置M3は、この経路選択をAP2～AP4についても同様に実行すると共に、未使用チャンネルを自己とAPとの間の無線通信のみに用いた場合の潜在スループットが最大となるAPを最適APとして選択し、それら選択した経路の内から最適経路を用いて最適APとの間でパケット通信を行う。

■ 特記事項、  
図など

10

■ 主たる提供  
特許

特許等の名称 : 無線ネットワーク

登録番号

出願番号 : 特願2008-313011

公開番号 :

出願日 : 平成20年12月9日

## ■ 実施実績

有、○無

## ■ 提供形態

○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム  
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2

Tel 0774-95-2521

E-mail ; patent@atr.jp